

7/30~ 大栗沢砂防ダムカレー発売
8/1 記念イベント開催

茨城県土木部河川課が実施するインフラツーリズムの一環として、また、全国的にも珍しい土石流体験型「砂防ダムカレー」の発売を記念し、下伊勢畑にある大栗沢砂防ダムの見学や砂防ダムカレーの試食など、小学生の親子を対象にツアーが開催されました。

大栗沢砂防ダムのほかにも、普段なかなか入ることのできない御前山ダムの監査廊に入り、説明を聞いたり、御前山ダム公園内の交流スペースの見学などもありました。参加者からは「子供も大人も興味深々でした。また開催してほしい。」との声がありました。

「砂防ダムカレー」は、ごぜんやま温泉保養センター四季彩館で販売しています。



▲砂防ダムカレー！

8/11~ こどもアートプロジェクト
in 山方淡水魚館

地域おこし協力隊星野隊員が企画した「こどもアートプロジェクト in 山方淡水魚館」が8月11日（水）から開催されています。本プロジェクトは、子供たちの絵を飾ることで、山方淡水魚館を親子の集う彩り豊かな場所にするを目的に開催しているものです。

今回は市内にある有志の保育施設の協力を得て、約260名のアート作品を飾りました。作品展示は11月末までを予定していますので、水辺の生き物たちと、子供たちのアート作品をぜひお楽しみください。※淡水魚館開館状況については、淡水魚館HPまたは電話（0295-57-6681）でご確認ください。



▲たくさんのアート作品が展示されています！

8/6 対日理解促進交流プログラム JENESYS 交流事業を実施

パラオ共和国のホストタウンである本市は、外務省と連携して「対日理解促進交流プログラム」JENESYS 交流事業を実施しました。この事業は、日本と大洋州の国々の将来を担う青年の交流を通して対日理解の促進を図るとともに、日本の外交基盤を拡充することを目的としています。パラオ共和国を含む、大洋州島嶼国の若者が在籍する南太平洋大学（所在地：フィジー）と茨城県立小瀬高等学校とのオンラインによる国際交流を行いました。

小瀬高等学校の生徒は、市の魅力や学校生活、日本文化、部活動について、英語で紹介し、同大学の生徒からの質問や意見交換を通して交流を深めました。

参加した小瀬高等学校の生徒からは、「初めての国際交流で緊張したけれど、とても楽しかった。」、また、南太平洋大学の学生からは「いつか日本や常陸大宮市に行って直接みなさんと交流したい」との感想がありました。

本市は、ホストタウンとしての取組を通して、今後も国際交流の推進に努めてまいります。



▲弓道を紹介する高校生



▲オンラインによる参加者の様子

8/10 プロドライバーによる交通安全教室開催

学童保育子コロコロで、プロレーシングドライバーの平木 湧也さんと平木 玲次さん兄弟による交通安全教室が開催されました。

ヘルメットの重要性や正しい被り方を学び、参加した子供たち一人ひとりが、安全な横断歩道の渡り方を体験しました。

最後には、レーシングスーツに身を包んだ平木さん兄弟がレーシングカーと共に子供たちの前に登場し、なかなか近くで見ることのできない本物のレーシングカーに驚いた様子の子供たちでした。

※平木さん兄弟は、地域密着型モータースポーツチーム「HELM MOTORSPORTS」を立ち上げ、レースへの参戦を中心に、子供向けの交通安全啓発活動や職場体験などの活動を実施しています。



▲ヘルメットの正しい被り方を学びました



▲本物のレーシングカーに子供たちも大興奮！

8/21 ワッショイ北富田
煙火のとどろき

新型コロナウイルス感染症の早期収束を願うとともに、医療関係者への感謝と敬意の気持ちを込めて、人数を制限し、北富田地区の小野瀬代表と有志による主催で、北富田集会所付近から三村勝光煙火師の新作花火が打ち上げられました。感染防止対策をとりながらの観賞でしたが、花火が打ち上げられると参加者から歓声上がり、夏の風物詩を楽しむことができました。



▲きれいな花火が打ち上げられました！

民生委員・児童委員の
決定及び変更について

御前山 野口第1区の民生委員・児童委員に変更がありましたので、お知らせします。

担当者	担当地区
大貫 晃 ☎55-3590	御前山 野口第1区全域

任期：令和3年9月1日から令和4年11月30日まで

